

# 小学校時代のソフトボール経験がその後の硬式野球にもたらす影響 ～軟式野球経験者と比較して～

堀谷 亮介 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)  
指導教員 新井 博

キーワード；ソフトボール，硬式野球

## 1, 緒言

硬式野球を始める以前に多くの人は軟式野球やソフトボールを，経験する人が多いだろう。私は小学校の6年間ソフトボールを経験してきた。しかし，ソフトボールを経験していない選手も数多くいる。軟式野球，ソフトボール，硬式野球はルールに関して多くの違いはないが，目に見える違いも存在する。

そこで本研究は，ソフトボールと硬式野球の関係性や，ソフトボールと硬式野球の違い，ソフトボールが硬式野球のプレーにもたらす影響を明らかにするとともに，今後の教育や野球指導へ生かすことを目的とする。

## 2, 研究方法

本研究の対象者はB大学硬式野球部に所属する20名を対象に，無記名選択及び記述を合わせたアンケートを実施した。有効回答率は90%で，ソフトボール経験者は7名，未経験者が11名であった。

## 3, 結果と考察

上記の方法でアンケートを実施した結果，ソフトボール，軟式野球，両方を経験し，硬式野球を行っている選手からは，打撃面では，ボールの硬さの違いからボールの捉え方が難しいという回答が多く得られた。守備面では，打球のバウンドの仕方，打球スピードの違いなど難しいという回答が得られた。

ソフトボールを経験し，軟式野球を経験せずに硬式野球を行っている選手の大半から打撃面において，ボールの大きさの違いから慣れるのに時間がかかるという回答が得られた。

一方で，ボールの硬さが類似していることから回転のかけ方などは似ているという軟式野球を経験していないからこその回答を得ることができた。守備面では，打球のはね方が類似しているという回答があったが，送球の距離が長い，打球スピードが速くて怖いという回答があり，打撃面とは対照的に難しいと感じた回答を得ることができた。

ソフトボールを経験していない人からは，軟式野球と硬式野球では，打撃面において，ミートの仕方，ミート時の回転のかけ方，バットの軌道などの違いなど，難しさを感じた選手が多く見られた。守備面では，打球のバウンドが違うから難しいという回答もあれば，あまりバウンドしないから簡単だという回答もあり，各個人の捉え方に大きな差があった。

## 4, まとめ

本研究では小学校時代にソフトボールを経験することは，その後に軟式野球を経験しても打撃面，走塁面において，良い影響が多く，守備面においては，基礎技術は身に付くが，塁間の距離の違いなどから慣れるのに時間がかかり，苦勞していることが明らかとなった。今後，野球を指導していく中で守備面においての良い影響を見つけて実践していきたい。

## 5, 参考文献

- 1) 池田哲雄 (2007) ソフトボールバッティングの極意. 株式会社ベースボールマガジン社
- 2) 増田義和 (2007) 確実に上達するソフトボール. 実業之日本社